



Flash News

三重大学

第102号

目次

- 星野仙一監督より寄附金贈呈（総務チーム）
- フラウンホーファー研究機構と協定締結（情報図書館チーム）
- 学長年頭挨拶（総務チーム）
- 事務局玄関を改装（施設整備チーム）
- 生物資源学研究科第1回オープンラボ（生物資源学研科）
- 2011年度みえ国際子どもフェスタ（教育学部）
- 第1回「学生と共通教育を語る会—近くでトーク—」（共通教育センター）
- 児童文学書人気作家はやみねかおる氏講演会（教育学部）
- 勢水丸教育共同利用拠点強化事業シンポジウム「海からの恵み—伝えたい！三重の食文化」（生物資源学部）
- みえ防災コーディネータースキルアップ研修（自然災害対策室）
- 中部ブロックDMAT（災害派遣医療チーム）実動訓練を三重大学で実施（附属病院チーム）
- 三重大学知的財産表彰状の授与式（研究支援チーム）

ご報告

星野仙一監督より寄附金贈呈



1月18日、学長室において、東北楽天ゴールデンイーグルス監督 星野仙一氏から三重大学振興基金への寄附金100万円の贈呈式が行われました。その後、寄附への謝意を表明し、内田淳正学長から星野氏に感謝状が授与されました。星野氏は奥様を血液の病気で亡くされたこともあり、地域医療をはじめ研究活動の発展を願って、以前より親交の深い津市内病院理事長を通して、本学振興基金への寄附を決められたものであり、内田学長は、星野氏の厚意に報いるべく、血液疾患の研究等に役立てるなど、有効に活用したいと応えました。

フラウンホーファー研究機構と協定締結

1月9日、ドイツ・ミュンヘンにおいて、三重大学・三重県・フラウンホーファー研究機構の三者による相互協定を締結しました。フラウンホーファー研究機構はドイツ国内に60の研究所を有し、産業界向けに直接的な効用の高い研究を提供している欧州最大の応用研究機関です。この協定の期間は3年間で、県内企業をはじめ産学官の具体的な連携を模索するために、三者が相互に技術・人事交流を深め、特に環境・エネルギー分野での連携を図り、共同技術開発の促進を目指します。



学長年頭挨拶

今年は辰年。本学も昇り龍のパワーに乗ってこれまで以上に皆で力を合せて昇っていきましょう。本年は大学改革の年です。大きな目玉としては教育面の教養教育の改革、大学院改革と大学間の連携です。研究面では、産学官連携で量より質を目指します。国際交流面では留学生教育の体制づくりなどを目に見えるように実現していくことが、社会の要請になっています。是非そのような改革を皆でやりましょう。環境・情報科学館などの新しい建物もできます。大学全体が一致して動き、皆さんが健康で活躍され、本学の良き伝統「教職員、学生が一体となる」ことが十二分に発揮されることを心より願っています。

事務局玄関を改装

三重県産のスギ材を使用し、三重の古き良き街並みをイメージしたエントランスとなりました。三重大学広報エリアもあり、広報誌やパネル等も展示しています。

生物資源学研究所
第1回オープンラボ

平成23年度三重大学教育GP「学生主体の『オープンラボ』-地域社会と相互理解・交流-」の一環として開催され、企業関係者91名、学生約120名が参加しました。

2011年度
みえ国際子どもフェスタ

外国にルーツをもつ小中高生が集まり、お互いの国や民族の文化を体験しました。また、「中学生交流会」も開かれ、子どもたちは楽しいひとときを過ごしました。



第1回「学生と共通教育を語る会-近くでトーク-」

共通教育の授業や仕組みについて学生と教職員が語り合うことを目的に開かれ、参加した学生33名、教職員20名は活発なトークを繰り広げました。

児童文学書人気作家
はやみねかおる氏講演会

教育学部出身のはやみね氏は、デビュー作誕生秘話や教師経験を楽しく披露され、「子どもに好かれる教師ではなく、信頼される教師に」と話されました。

勢水丸教育共同利用拠点強化事業シンポジウム
「海からの恵み-伝えたい!三重の食文化」

共同利用拠点強化事業の一環として基調講演や加工業者らによる講演、試食会が行われ、学生、教職員、一般170名を超える参加者に大好評でした。

みえ防災コーディネーター
スキルアップ研修

スキルアップ研修として「防災トーク能力向上講座」を実施しました。みえ防災コーディネーターの方々には、地域でのますますの活躍が期待されます。

中部ブロックDMAT(災害派遣医療チーム)
実動訓練を三重大学で実施

三重県中部を震源とする地震による大規模災害を想定した訓練が実施され、本学職員で構成される三重DMATとともに学生約50名も参加しました。



三重大学知的財産表彰状の授与式

本学の知的財産活動に関わる教職員のインセンティブを高めることを目的に、平成22年度の職務発明を対象に選考された8名が、学長から表彰されました。



ご報告

12/22 株式会社シーエナジーと三重大学スマートキャンパス(MIESC)実証事業に関する基本協定を締結しました。
(施設企画チーム)

1/4 附属病院新病棟・診療棟が開院しました。(医学部附属病院)

1/11 医学部医学系研究科教授会において、竹田寛氏が医学部附属病院院長候補者として選出されました。
任期は平成24年4月1日から3年間です。(医学部附属病院)

1/31 第6回定例記者懇談会を開催しました。(総務チーム広報室)